



長岡花火

2026 長岡まつり大花火大会について

8月2日（日）、3日（月）に長岡まつり大花火大会を開催します。

今年も日曜日を含む週末開催となり、昨年と同様、多くの入場者数が見込まれます。来場者の安全を第一に、市民の皆さまや関係者の理解と協力のもと、御来場いただく方々から、喜んでいただける花火大会の運営を目指します。

今年は、市政120周年。また長岡で初めて正三尺玉の打ち上げが成功した1926（大正15）年から100年の節目となります。長岡花火の発展に尽力された先人に感謝し、戦災復興祭から続く「長岡花火」の意義をこれからも発信していきます。

1 花火大会の概要

（1）花火の規模・内容

①打ち上げ規模を拡充

40台/日で調整中（令和7年度は39台/日）

②長生橋の「ナイアガラ」が3年ぶりに復活

正三尺玉との同時打ち上げを両日実施

③「復興祈願花火フェニックス」の打ち上げ時間を変更

安全対策の一環で20時45分に変更（令和7年度は20時15分打ち上げ）

（2）観覧会場の規模・内容

①収容者数を約1万人増

会場内の仮設トイレや売店の位置の変更や集約により生まれたスペースと、従来の空きスペースに観覧席を設置し、1日あたり約1万人分を増席（各日約18万人収容）

②事故防止を目的に観覧席種を見直し

開場待ち待機列が課題だったB会場（長岡インター側）大手大橋下流の北エリア席（子育ての駅てくてく～長岡赤十字病院）を細分化。あわせて両岸にあった各種ブロック指定席を一人ずつの指定席に変更

③障がい者席を両岸に設置し収容人数も30席増

さいわいプラザ屋上に設置していた障がい者席（50席）を廃止し、移動などの負担を軽減しながら安全に観覧できるよう長岡駅側の長生橋上流堤防上に30席と、長岡インター側の長岡リリックホール敷地に50席を新設。これまで右岸のみ50席/日から、両岸80席/日に拡大

④「高校生応援席」を新設（別紙チラシ参照）

人づくりはまちづくりとする「米百俵の精神」のもと、長岡の誇りである長岡花火を友達同士などで気軽に楽しんでもらい、郷土愛の醸成につながることを願い、市内の高校生専用の観覧エリアを新設します。

《対象》 市内在住・市内高校に在籍する高校生（高専生含む）

《定員》 各日1,000人（A会場・B会場各500人。定員を超える場合は抽選）

《金額・席種》 500円／人（エリア席）

《募集・販売方法》

- ・市内高校にポスターを掲示（掲載依頼中）
- ・学校経由で生徒に案内を配布（4月上旬）
- ・4月15日（水）～5月15日（金）にポスターまたは案内のQRコードから申し込み（最大6人までグループで申し込み可。当落は5月26日（火）に通知）
- ・当選者は7月18日（土）・19日（日）に代金とチケットを引換（キャンセル不可、申込者変更不可）

2 花火大会運営上の各種対策

（1）世界一マナーのいい花火大会へ「NAGAOKA HANABI GOOD ACTION PROJECT」

長岡花火ファンの皆さん一人一人が、花火大会前も大会当日も、お互いを思いやり、気づき、行動することで、花火だけでなくマナーも世界一の大会となるよう、4月からSNSなどさまざまなマナー啓発活動「NAGAOKA HANABI GOOD ACTION PROJECT」を展開していきます。

（2）安全対策等の徹底

①分散退場の促進

復興祈願花火フェニックスの打ち上げ時間変更を含むプログラム全体の見直しにより、分散退場を促進。

②チケットを持たない来場者抑制対策

YouTubeやTVerなどWEB媒体を使い、花火大会に関心が高い方へ効果的な事前広報を中心とした情報発信、マナー啓発を実施。

（3）交通対策の推進

①公式駐車場の事前予約（抽選）制

全ての公式駐車場は、昨年に引き続き事前予約制を継続（詳細は別添のパンフレット参照）し、駐車場の開場を待つ迷惑停車による交通渋滞を軽減。

②パーク＆レイルライドの拡充

柏崎市内など市外にも駐車場を確保し、電車での来場を促すことで市内への車両の流入を抑制。

③交通規制の徹底

通行規制除外車証の発行基準を見直し、これまで自治会に負担を掛けていた世帯ごとの配布をやめ、車両ごとの登録申請に変更。あわせて、宅配業者などの事業者へは、規制開始前の業務遂行を改めて依頼。

3 チケット販売

(1) 販売価格

昨年と同額（席種の変更による価格改定はあり）。

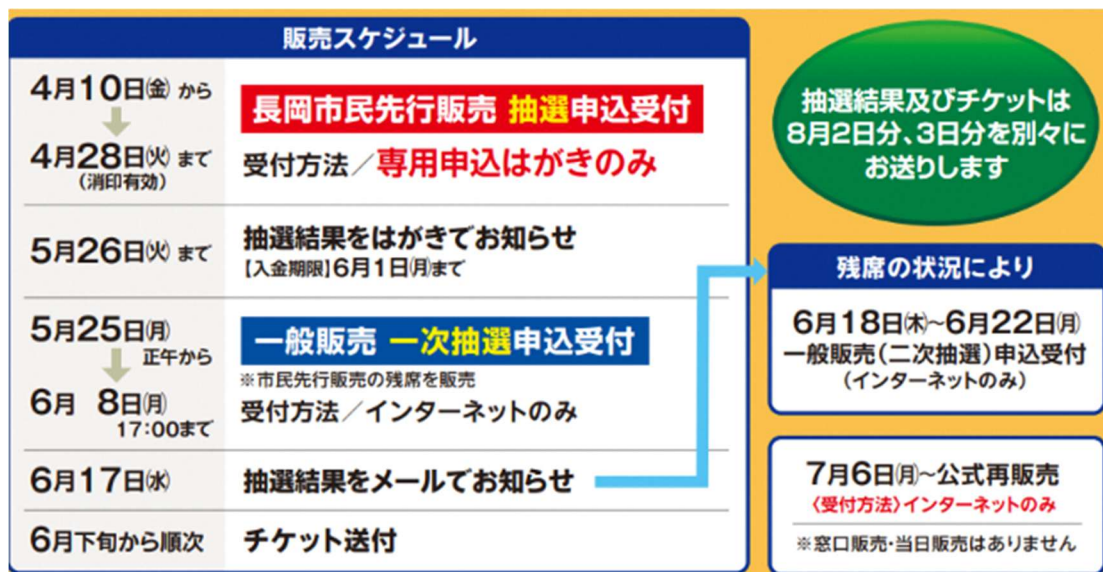
(2) 販売方法・スケジュール

①市民先行販売…4月10日（金）～28日（火）

旅行者と協賛スポンサー向けの席など（全体の約1割）を除く全席を市民先行販。

②一般販売…5月25日（月）～6月8日（月）

市民先行販売の残数およびキャンセルが出た場合に販売。



※ 昨年同様、抽選倍率をパンフレット内に公表

(3) 高額転売対策

①二次販売（6月18日（木）～22日（月））を先着から抽選に変更

販売方法を全てを抽選とすることで、転売を目的とした大量購入の防止を強化。

②電子チケットを試験導入

一般販売のベンチ式マス席に、取引経過がわかる電子チケット「NFTチケット」を試験導入。転売対策としての有効性、課題を検証。

③記名式チケットや、WEB上のオークションやフリーマーケット市場での販売抑制対策を継続。

④捜査機関との連携

昨年は高額転売による逮捕者も発生。捜査機関からの要請に全面協力する。

〔 問い合わせ （一財）長岡花火財団 戸田 Tel 0258-39-0823 〕